

新たな時代の幸せな暮らしのために

津市議会

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

去年は、令和の時代の幕開けとなった歴史的な節目を迎えた年でした。本市においては、津シティマラソン大会がサオリーナを発着点とした新たなコースで開催され、過去最多となる参加者4,175人の盛大なイベントとなり、また、そのサオリーナも来館者100万人を達成しました。このほか、道の駅津かわげも来駅者300万人を達成するなど、これまでの事業の成果や施設の活用実績が順調に表れてきました。

本年は、いよいよ6月に久居アルスプラザが「地域をつなぐ開かれた独自性ある文化芸術の創造拠点」をテーマにオープンし、活力ある地域社会の構築に向けた新たな文化の交流、創造拠点の役割を担う施設となることが期待されています。

さて、我が国では急速な人口減少や少子高齢化が進んでいます。地方自治体においては、将来にわたり住みよい、活力ある地域社会を持続していくため、引き続き、国とともに地方創生に取り組むほか、福祉・医療サービスの充実、防災・減災対策、過疎対策などの複雑多様化する行政課題への対応に向け、地域の実情に応じた取り組みを進めていくことが必要です。

津市議会におきましては、これらの状況をしっかりと踏まえ、二元代表制の一翼を担う機関として、市政全般にわたり丁寧な議論を重ね、市民の幸せな暮らしのために全力で取り組んでまいります。

昨年、津市議会では、本会議において約250件の議案審議と300件を超える一般質問を行いました。これらの議会の内容は、広く市民の皆様にご覧いただけるよう、津市議会のホームページにおいて、会議録を掲載しているほか、ライブ映像と録画映像の配信も行っております。また、定例会ごとに発行しております「つ市議会だより」につきましても、より見やすい紙面づくりに努めており、今後も、市議会の活動を分かりやすく、身近に感じていただけるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。

市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますことをお願いいたしますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多い素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。